

東方城跡(深谷市

ひがしかた

主郭の「御所屋敷跡」などと呼ばれる場所を中心に、西方向は熊野神社通り、東方向は「城主別邸跡」及びその南にある「お姫様屋敷」と東方城跡が広がっている

前方の木々の辺りから右手にかけてが東方城(幡羅城とも呼ばれるらしい)の「御所屋敷(主郭)跡」とされる



前方は御所屋敷跡の西側にある土塁跡/左手に調査隊の第二クルーザーが止まる



右手が土塁跡 /この小道は堀切(切り通し)の跡という



土塁跡の標柱には「深谷市指定文化財 東方城跡」とある



これが土墨跡





振り返って堀切跡と土塁跡を見る





さて、左手の土塁跡の上に登って見る



右手に堀切跡を見下ろす



更に土墨跡上を進む



振り返って、左手に堀切跡、右手に堀跡(その更に右手が御所屋敷跡)を見る



右手に堀跡を見る



堀跡から土塁跡を見上げる



堀切跡に下りる



振り返って土塁跡を見る



さて、御所屋敷跡の外周を見てみよう/北側から見る



水堀や水田がその周りを取り囲み、こちらの備えとなっている



左手の雑木林全体が御所屋敷跡で、その右手(西方向)には城域としての崖線が熊野神社の方へと続いている



左手を見る/この雑木林内が御所屋敷跡



更に左手を見る



これは熊野神社方向へと続く崖線を幡羅生涯学習センターの駐車場から見る/右手の方角が熊野神社



ここが熊野神社



熊野大神社

古くより小さな社があり、東方といふ地名もこの社から生まれました。天文(一五三二〜五五)の頃、深谷上杉三宿老、四沼城主、岡谷加賀守清英がこの地方を領し、熊野大神社を深く崇拝し、社領を寄進し、今でも熊野免という年貢を免除した土地があります。同じく三宿老の一人、上野台領主秋元但馬守景朝、その子越中守長朝は、当社が上野台の館の東北にあたって、城の守りとして崇敬し、天正年間(一五七三〜九二)に当社の社殿を造り、現在本殿正面の桁に家紋が彫刻されてあります。天正十八年(一五九〇)徳川家康、江戸入城後、松平丹波守康長が東方城主となり、当社を信仰、社領を免除して、います。昭和五十八年一月、深谷上杉頭彰会

熊野神社拝殿



奥が本殿/その後ろに土塁跡があるらしい



土墨跡/この前方(東方向)を行くと、先ほどの生涯学習センター近くの崖線へと続く



これは本殿左手の土塁跡







さて、御所屋敷に戻り、外周を西側から北側方向へと時計回りに廻って見る/北側から見たところ



左手(東方向)を見る



前方は御所屋敷跡北側にある保育園の辺り



城域外周の水堀の名残か



右手は西側から続く土塁跡と思われる



左手を見る/前方の木々の向こうに御所屋敷東側の土塁跡が残る



この右手に御所屋敷東側の土塁跡が道路に沿って残る/前方道路の左手の木々の辺りから左手方向の「城主別邸跡」へと土塁跡が延びている(この前面の土塁跡は木の本9号墳ともされる)



前方の木々の辺りが城主別邸跡/御所屋敷の東方向になる



正面は御所屋敷東側の土塁跡にある石碑





前方の道路を進んで振り返る/左手が御所屋敷跡の東側の土塁跡/右手のフェンスに囲まれているところはここで右手に折れて城主別邸跡へと続く土塁跡



更に進んで振り返る



更に進んで振り返る/左手が御所屋敷跡の東側の土塁跡/右手のフェンスに囲まれているところは前方で右手に折れて城主別邸跡へと続く土塁跡



御所屋敷跡の東側の土塁跡





御所屋敷跡の東側の土塁跡から、城主別邸跡へと続く土塁跡を見る(なお、この部分が木の本9号墳とされているところである)



このフェンスの奥にも土塁跡が見える/右手に折れた土塁跡が少し先で右手にクランクしている部分のようだ



アップで見る



城主別邸跡へと続く土塁跡の曲がり角/木の本9号墳ともされる



アップで見る



右手に折れている





右手に少し進んで振り返って見る



アップで見る



さて、前方の雑木林の一角が城主別邸跡



この右手が城主別邸跡



中を覗いてみると土墨跡があった



更に進む



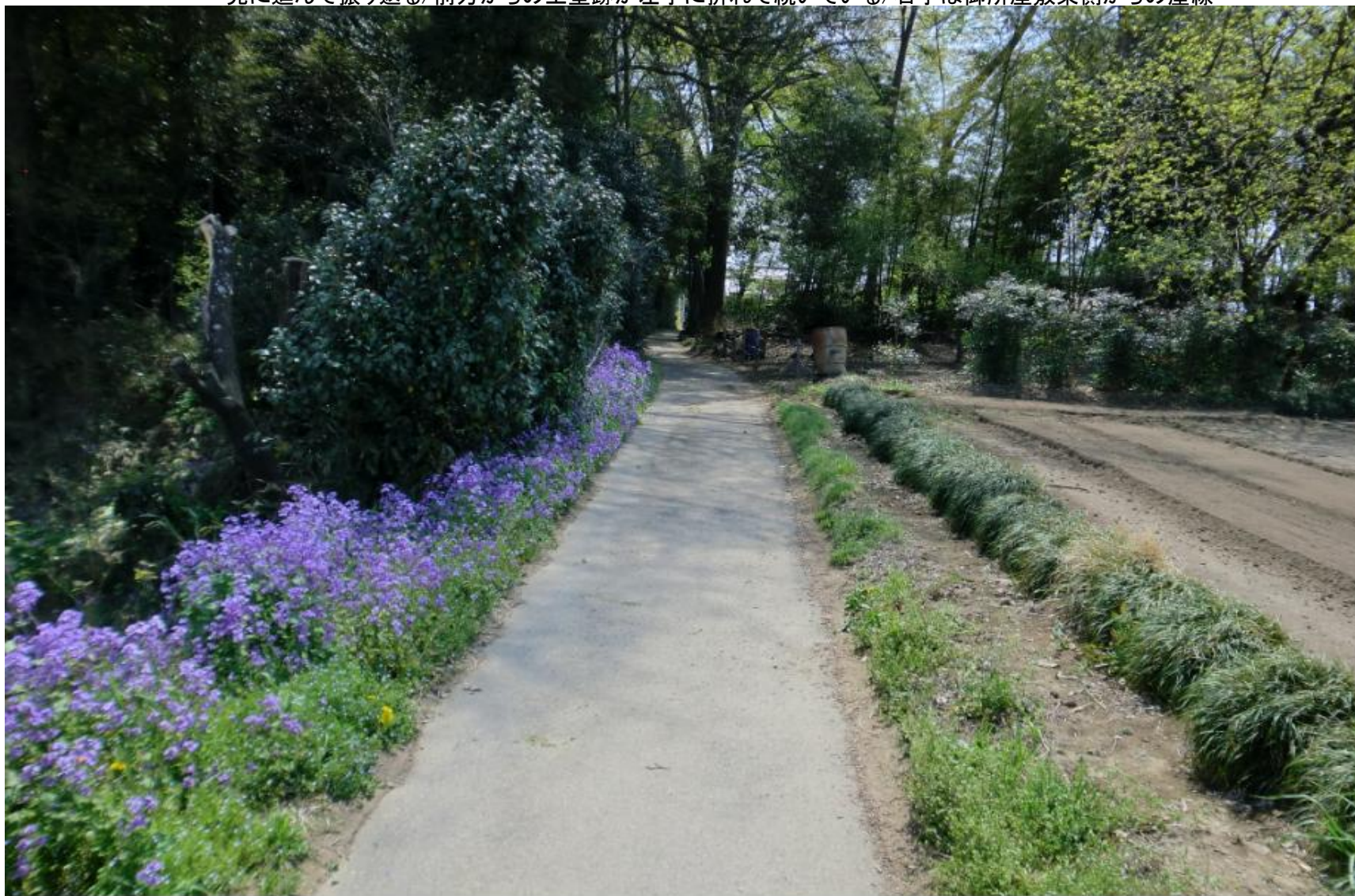
この道路に沿って土塁跡が続いている



ここで右手に折れている



先に進んで振り返る/前方からの土墨跡が左手に折れて続いている/右手は御所屋敷東側からの崖線



右手をしてみる



この前方方向(西方向)が御所屋敷東側



左手をしてみる/こちらに土塁跡が折れて続いている



その細い道を進んでみる



振り返って見る/左手の木々の中に土塁跡がある







土塁跡の頂部に祠があった



前方に土墨跡が続く



ここが土塁跡の折れのコーナー一部分



左手が土墨跡/右手は堀跡か



折れ曲がった右手を見る/右手が土塁跡/左手は堀跡か



土墨跡の頂部



堀跡を見る



さて、ここは城主別邸跡のすぐ南にある「お姫様屋敷」跡



右手に曲がってみる



フェンスに沿って土塁跡がある







振り返って見る







道路側から見る



この中を見ている



フェンスに沿った土墨跡と堀跡が一望できた



参考ホームページ

<http://jvokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/106higashikata/higashikata.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/hukayasi.htm#higasikata>

<http://www.geocities.jp/sisin9monryu/saitama.fukaya.html>

<http://www.geocities.jp/tsukavan0112/subdir-siropage/hhigasikataiou.html>

さくら保育園の辺りが本郭(「御所屋敷」)跡/その東に「城主別邸」跡、更にその南に「お姫様屋敷」跡がある

